資料　4

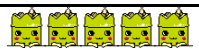
西京区基本計画の取組状況

(1)人と人とが支え合う区民が主役のまちづくり

○人権(だれもが尊重されるまちづくりの推進)　現区基本計画 P9

評価	・ 2 事業 ・ 6 事業 ・その他　3 事業 【取組の進捗状況】 完了 相当程度実施 一定実施 着手 未着手 その他　事業中止など
目標	・子どもも高齢者も，女性も男性も，障害のある人もない人も，また，国籍や民族，生まれや生い立ちに関係なく，互いに支え合い，いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。
現状	・啓発イベント・活動等人権啓発の取組を進めるとともに，民生委員・児童委員，関係機関と連携し，生活保護等のセーフティネットの確保の取組の推進，地域あんしん支援員の設置等を進めています。 ・ユニバーサルデザインの普及に向け，啓発活動や建築物のバリアフリー化の促進等に取り組んでいます。 ・第４次きょうと男女共同参画推進プランに基づき，ワーク・ライフ・バランスの推進や DV 対策に取り組んできました。
課題	**・生活困窮，世帯構成，介護等様々な原因から地域社会との関わりがなくなる「社会的孤立」等の状況がみられ，地域コミュニティの連携の強化や民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくり等を進めることが必要です。**

○地域コミュニティ(地域コミュニティの更なる活発化)　現区基本計画 P10

評価	・  1 事業 ・ 5 事業 ・ 19 事業 ・ 1 事業
目標	・自治会をはじめとする地域コミュニティの力を生かしたまちづくりを進めるとともに，少子高齢化社会を支えることができる地域コミュニティの形成など，だれもが安心・安全に暮らせるまちづくりを進めます。
現状	・自治会加入率が低い学区・地域がみられるなど，地域コミュニティのあり方についての懸念が示される中，自治連合会長会議での地域コミュニティ活性化に向けた意見交換や転入者地域交流支援制度の活用等，自治会加入促進につながる活動を展開しています。 ・まちづくり活動団体情報バンク「にしきょう・ねっと」の運用，まちづくりに興味がある人の出会いの場「ふらっと・西京」，「西京結び」の開催，まちづくり活動団体へ

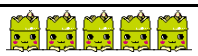
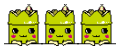
	の助成「西京区地域サポート事業補助金」等，区民の新たなまちづくり活動の支援を進めています。 ・また，「未来の西京まち結び」，「桂ヴィレッジフェス」，「らくさいマルシェ」，「マルシェ大原野」等，まちと人の新たなつながりによる活動が展開されています。 ・「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」を受け，平成 29 年に「洛西ニュータウンアクションプログラム」を策定し，高齢者や障害者，子育て層等がより暮らしやすくなる取組を展開しています。
課題	**・自治会の加入率が低い地域がみられ，地域の人と人のつながりが希薄になることが懸念されており，地域コミュニティの基盤となる自治会活動や加入促進の支援を進めるとともに，各種団体等地域コミュニティ活性化につながる取組の一層の展開が求められます。** **・人口減少・少子高齢化が進む洛西ニュータウンを次世代に引き継ぐことができるよう，「洛西ニュータウンアクションプログラム」の着実な推進が重要です。**
前回会議での委員総括	・地域のつながりがありお互いが支え合うよい地域である。 ・嵐山東学区の子ども食堂など素晴らしい取組がみられる。 ・地域との結びつきが希薄になっている。自治会活動等，世代により考え方が変わってきている。過剰なサービスではなく，「やってみたい」等気持ちを動かす取組が必要。 ・町内会の加入率が 3 割程度と低くなっているが，子どもの数が増え，小学校のクラスも増えている。子どものいる家庭も多くなり，家庭事情も見えてくる。町内会行事への参加率を上げるため，区民会議の意見を参考にしている。 ・自治会に加入してもらい，コミュニケーションにより信頼関係を築き，学区・地域が良くなれば西京全体が楽しいまちになり，それぞれの学区・地域も連携できる。 ・学区では毎年 2～30 人減少が続き，高齢者は地域に出て来られず，若い人は無関心という傾向が進むと西京のまちづくりに影響する。 ・官学が連携し自治会加入促進することでまちが活性化する。 ・地域でのイベント開催時等，保健所からの指導が厳しく，飲食物の提供について中止しなければならないかもしれない。 ・昨今，コンプライアンスが厳しく事業実施を踏みとどまることもあるかもしれないが，実行力を持って行動しないと何もできなくなる。 ・民生委員は年齢制限があるが，新しい人材を見つけることが大変。 ・区の運営方針等，住民がどこまで認知しているのか。

○区民参加（協働によるまちづくりの推進）　現区基本計画 P11

評価	**・ 　1 事業** **・ 　3 事業** **・ 　3 事業** **・ 　1 事業** **・その他　1 事業**

目標	・区民と行政との協働によるまちづくりを推進するため，区政のあらゆる場面において，様々な方法により，区民が区政に参画できる仕組みづくりを進めます。
現状	・市民しんぶん西京区版をはじめ，洛西ニュータウンまちづくり通信，洛西タウンライフ，西京じかん等，市民団体等による情報発信も行われており，西京区に特化した広報が展開されています。 ・市民や各種団体，事業者が参加の元，「西京区・洛西地域の新たな活性化ビジョン」，「洛西ニュータウンアクションプログラム」等の策定を進めてきました。
課題	**・今後とも，様々な媒体を活用した広報を展開するとともに，区政への区民意見の反映，区民参加による計画策定等の機会を充実させていくことが必要です。**
前回会議での委員総括	・まちづくりは区民の力が大事であり，行政が支援し，共に汗をかいて良くしていくことが重要。

○地域福祉（地域福祉の推進）　現区基本計画 P12

評価	・  **8 事業** ・ **3 事業** ・  **5 事業**
目標	・地域の福祉力を高め，だれもが暮らしやすいまちづくりを進めます。
現状	・「認知症あんしんサポーター」や「一人暮らしお年寄り見守りサポーター」の養成や地域支え合い活動創出事業により，地域福祉の担い手の育成を進めているほか，「京（みやこ）・地域福祉パイロット事業」により，住民主体の地域福祉を推進する先進的な取組を支援しています。 ・社会福祉協議会，民生児童委員協議会，地域包括支援センター等，地域の福祉活動団体が連携し，地域での福祉活動を展開しています。 ・成年後見人制度や社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業の活用により，認知症高齢者や知的障害のある人等の権利擁護に取り組んでいます。
課題	**・地域福祉の担い手を育成するともに，地域で活動する団体等の連携を強化し，だれもが地域で安心して暮らし続けられる環境や仕組みづくりを進めていくことが重要です。**

○子育て（子どもたちの健全育成）　現区基本計画 P13

評価	・ **1 事業** ・ **16 事業** ・ **13 事業** **・その他　5 事業**
目標	・地域や各種団体，行政等が連携し，子育ての喜びが実感できるよう，地域ぐるみで子育てを支え合う風土づくりを目指します。

現状	・「西京子育てまるごと応援 BOOK」を活用した子育て家庭への訪問等，子どもの見守り活動を進めています。 ・民間団体と事業者が連携した託児サービスの提供や子育て支援イベントの開催,「らくさい子育て情報マップ」の発行やたけっこぐんぐんプロジェクト委員会による子育て情報の発信，子ども食堂，西京☆パパ塾等，特色ある子育て支援の取組が進んでいます。 ・保育所待機児童ゼロの継続に向けた取組や児童館(児童クラブ),放課後まなび教室,放課後ほっと広場等の取組を続けています。 ・子育て支援ステーションやつどいの広場において，子育て講座や園庭開放，子育て情報の発信等が実施され，地域の子育て拠点として機能しています。 ・児童館やつどいの広場等の場も活用した，親子で楽しむ健康教室を開催する等，乳幼児期からの生涯を通じた健康づくりを支援しています。
課題	**・子育てをするファミリー層が安心して住み続けることができる地域にしていくため，民間，事業者，行政等が一層連携を強め，ニーズに対応した子育て支援の取組を展開していくことが必要です。**
前回会議での委員総括	・若い人の引きこもりが増えている。年齢によって異なる相談窓口の周知が必要。 ・低学年の不登校の子どもの行き場が少ない。 ・不登校の子どもについて別の居場所をつくることも考えられるが，学校に足が向く方向付けが必要であり,学校や児童館が居場所を提供してくれる方向になっている。

○高齢者福祉(高齢者福祉の充実)　現区基本計画 P15

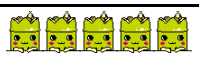
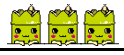
評価	・ 3 事業 ・ 8 事業 ・ 2 事業 ・その他　2 事業
目標	・高齢者の地域での生活を支えるとともに，高齢者一人一人が尊重され，自らの意思に基づき，住み慣れた地域で，いきいきと健やかに暮らせるまちづくりを進めます。
現状	・一人暮らし高齢者世帯の訪問や名簿作成等，地域包括支援センター，民生委員，老人福祉員，社会福祉協議会等が連携し高齢者の見守り活動を展開しています。 ・地域包括支援センターや地域介護予防推進センター，老人福祉センター，保健センター等を軸とした介護予防や健康づくり，西京区認知症地域ケア協議会等による認知症サポーターの育成・認知症の広報・啓発等，地域ぐるみで高齢者の暮らしを支えています。 ・高齢者の身近な通いの場「健康長寿サロン」や既存施設を活用した居場所づくり，高齢者の就労を支援する「シルバー人材センター」の運営支援等，高齢者の生きがいづくりや健康づくりを進めています。 ・特別養護老人ホームの整備等，地域の高齢者福祉ニーズに対応した介護サービスの基盤整備を進めています。

課題	**・高齢化の進展に伴い，今後，一人暮らしや夫婦2人の世帯が増加するとともに，支援を必要とする方が増えることが見込まれます。** **多様なニーズを持つ高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援する地域包括ケアシステム（日常生活圏域において医療，介護等の専門職をはじめ，地域福祉団体，行政機関の連携を進め，地域住民，関係機関，行政が一体となり，地域全体で高齢者を支えていく仕組み）をさらに推進していく必要があります。** **・高齢者が可能な限り，健康で自立し，地域で暮らし続けることができるよう，高齢者の健康・生きがいづくりの意識を高めていくことが重要です。**
前回会議での委員総括	・子ども食堂はやっているが，今後は，高齢者が集い，温かい食事が食べられ，住んでよかったと思えるまちにしたい。 ・地域の高齢化についてしっかり話し合い，じっくり取り組む機会が必要。

○障害者福祉（障害者福祉の充実）　現区基本計画 P16

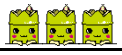
評価	・ 2 事業 ・ 8 事業
目標	・障害のある人の地域での生活を支えるとともに，地域での交流の場づくりや啓発活動などによって，障害のある人もない人もお互いに認め合い，支え合いながら，いきいきと安心して健やかに暮らすことができるまちづくりを進めます。
現状	・障害のある市民の社会参加や地域での交流の機会づくり，障害や障害のある人市民に対する理解が深まる啓発・広報活動を行っています。 ・保健福祉センターや障害者地域生活支援センター，障害福祉サービス事業所等での相談・支援を行うとともに，ホームヘルプサービスやグループホーム，就労支援等，障害のある人の地域で自立して生活する支援を行っています。
課題	**・障害のある市民が地域で暮らし続けられる環境づくりを進めるとともに，障害や障害のある人に対する啓発の推進や家族への支援の充実が必要です。** **・障害のある市民の地域での社会参加・交流の機会の充実や地域ボランティア等の担い手の育成が必要です。**

○保健・医療（健康づくりの推進）　現区基本計画 P17

評価	・  3 事業 ・ 7 事業 ・  5 事業
目標	・保健・医療・福祉の各分野で活動する様々な主体が連携し，区民が生涯にわたって，いきいきと健やかに暮らせるまちづくりを進めます。
現状	・健康寿命の延伸に向けて，「西京健康ひろば」や「らくさい健康長寿プロジェクト」の開催により，健康づくりの啓発，実践に取り組むとともに，地域住民と連携した健康づくりに取り組むため，健康づくりサポーターを養成し，同サポーターと一緒

	に健康ウォーキングなどを実施しています。 ・生活習慣病やがんの予防，早期発見を目的に国民健康保険の被保険者を対象とした特定検診や７種別のがん検診の実施，区民のこころの健康の保持・増進のための相談・支援に取り組んでいます。 ・食育指導員の養成講座等を開催するとともに，同指導員の地域での食育活動に対する支援を行っています。
課題	**・健康寿命の延伸に向け，市民が主体となったライフステージに応じた健康づくりの取組や，市民の取組を支える環境づくりが必要です。** **・生活習慣病やがんの早期発見，早期治療につながるよう，特定検診やがん検診の受診率の向上を図ることが必要です。**

○教育（教育の充実）　現区基本計画 P18

評価	**・** **2 事業** **・** **4 事業** **・**  **6 事業**
目標	・地域の自然や歴史，文化などを生かし，地域ぐるみで特色ある教育を進めるとともに，教育環境の整備などを通じ，子どもの個性に応じたきめ細やかな学校教育を進めます。
現状	・地域の人材を活かす学校支援ボランティアの派遣や土曜学習，みやこ子ども土曜塾等，地域での野外活動や体験活動等，学校と地域，事業者等が連携した教育活動を行っています。 ・LD 等支援が必要な子どもへの介助や支援を行っています。
課題	**・地域と学校の連携，小中が連携した特色ある教育の展開等，学校教育の充実が求められているとともに，人口減少社会に応じた学校教育のあり方について検討していく必要があります。**
前回会議での委員総括	・夏休みの地域のイベント等に小中学生が参加していて，片付け等遅くなることが望ましくないとのことで行政からの指摘で子どもの参加がなくなった。キャンプに教師の派遣を依頼しても働き方改革で断れる等，行政によりストップする活動もあり，もう少し何とかならないか。

○安心・安全（安心で安全なまちづくりの推進）　現区基本計画 P19

評価	**・** **2 事業** **・** **16 事業** **・** **12 事業** **・その他　3 事業**
目標	・区民と区役所・支所，警察署，消防署，学校等の関係機関が連携し，防犯活動や交通安運動などを積極的に推進し，安心で安全なまちづくりを進めます。 ・また，関係団体の連携と地域コミュニティを生かした防災体制の強化を図り，防災意識の向上や地域の防災機能を高め，安心して暮らせるまちづくりを進めます。

現状	・子どもの通学路や地域での安全対策や地域として，PTA や学校安全ボランティア等による見守りや巡回等，地域ぐるみで子どもの見守りを行っています。 ・世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動西京区版運動プログラムに基づき，洛西安心・安全ネットワーク・洛西防犯連絡協議会等が連携した地域の安全対策に関する情報交換や防犯パトロール，警察署，学校・学区，地域の交通安全推進会等が連携した交通安全活動を進めています。 ・高齢化の進展に対応し，高齢者の交通教室や運転免許証自主返納の促進，特殊詐欺に関する啓発等に取り組んでいます。 ・災害時要援護者名簿の作成や日常的な見守り，災害時の救急医療情報キットの配布を進めるとともに，自主防災会等地域住民や防災関係機関が連携した防災訓練の実施，土砂災害ハザードマップの作製，避難所運営体験等，地域の防災対策や防災意識の向上や災害対応力向上に向けた取組を進めています。
課題	**・子どもや高齢者の見守り等，地域の防犯活動や交通安全活動の推進等，地域や関係機関が連携した取組を続けていくことが必要です。** **・地震・水害等の大規模災害に備え，防災意識の向上や防災情報の共有・周知，災害時の対応力向上等，地域が主体となった災害対応力の向上を図ることが重要です。**

○商工業（商工業の振興） 現区基本計画 P20

評価	・ **3 事業** ・ **2 事業**
目標	・地域の特性を生かし，地域に密着した商工業の振興を図るとともに，産学公の連携による先端産業の育成を支援します。
現状	・従来，営業していた商業施設が撤退し，身近に最寄り品を求める場所が不足する地域がみられます。 ・商業活性化やまちの賑わいづくりを目的として「らくさいマルシェ」や「洛西グラシアス・バル」等のイベントの開催や商店街施設の改修等の支援を行っています。 ・桂イノベーションパーク，京大桂ベンチャープラザ等新産業創出や科学技術振興に向け，企業・大学により新たなビジネス創出を進めています。
課題	**・市民の日常の暮らしに密着した商業振興や地域の賑わいを創出する商業イベント等の支援を進めていく必要があります。** **・知的産業創出拠点の特性を生かしたベンチャー企業の育成や新たな産業創出の支援を進めていくことが必要です。**
前回会議での委員総括	・嵐山東学区は高齢化でスーパーがなくなり，買物に苦労する住みにくいまちになった。

(2)環境と共生するまちづくり

○自然環境(自然環境の保全と緑化の推進)　現区基本計画 P21

評価	・ 1 事業 ・ 4 事業 ・ 4 事業 ・ 1 事業 ・その他　3 事業
目標	・地域に存在する豊かな自然環境を保全し，それらにふれあう機会づくりに取り組むとともに，自然を大切にする心の育成に努めます。
現状	・病害虫被害対策等の森林保全，放置竹林対策の取組をはじめ，身近な公園や街路樹等の緑の維持管理等，豊かな自然環境を守る活動を展開しています。 ・地域や学校でのエコ活動や学習の機会の充実等に取り組んでいます。 ・身近な公園において，プレイパークや生物多様性について学ぶイベント，公園づくりワークショップ等の取組を進めています。
課題	**・今ある自然の大切さや生物多様性の恵みを実感できるよう，自然環境保全の取組や環境学習の充実・環境にやさしいライフスタイルの実践を進めていくことが重要です。**

○歩くまち・京都(「歩くまち・京都」の推進)　現区基本計画 P22

評価	・ 1 事業 ・ 1 事業
目標	・京都らしい，人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進します。
現状	・市バスダイヤの再編やモビリティ・マネジメントの取組，公共交通の利用促進に向けた啓発，区内の魅力資源を歩いて巡るウォーキングイベント等に取り組んでいます。 ・阪急京都線洛西口駅から桂駅間の高架下空間を活用した阪急高架下洛西口～桂駅間プロジェクトを進めています。
課題	**・既存公共交通の利便性の向上，阪急高架下洛西口～桂駅間プロジェクトの継続的な取組を進めるとともに，公共交通利用の促進，市民自らが歩いて暮らすライフスタイルについて考えていくことが必要です。**

○まちの美化(まちの美化活動の推進)　現区基本計画 P22

評価	・ 3 事業 ・ 9 事業
目標	・地域住民や関係団体，行政の連携により，まちの美化活動を推進します。

現状	・児童・生徒による河川・公園の美化活動や美化ポスター制作等による啓発，学区・地域での一斉清掃，まちの美化推進住民協定締結の促進等に取り組んでいます。 ・関係機関と連携した不法投棄ごみ対策，産業廃棄物の不適正な保管等への指導・取り締まりの他，空き地管理の指導啓発等に取り組んでいます。
課題	**・行政と市民，事業者が連携し「世界一美しいまち・京都」の実現に向け，地域美化の取組や啓発活動の充実等の取組を進めていくことが必要です。**

○循環型社会（循環型社会の構築）　現区基本計画 P22

評価	**・ 1 事業** **・ 5 事業** **・ 1 事業** **・その他　1 事業**
目標	・日々の暮らしの中で，家庭や地域，社会における３R※３（リデュース，リユース，リサイクル）の取組を推進することにより，限りある資源を有効に活用する循環型社会の構築を目指します。
現状	・学区・地域でのごみ減量・リサイクル活動の支援，西京塾によるごみ分別の啓発，地域イベントでのリユース食器利用等のエコ化，落ち葉の有効活用等に取り組むとともに，KES（環境マネージメントシステム・スタンダード）学校版に基づく環境配慮型の施設運営や環境教育等を進めています。
課題	**・低炭素・循環型社会の構築に向け，市民と行政が連携し，ごみ減量やリサイクルの取組を一層進めるとともに，市民一人ひとりが環境への意識を高めていくことが必要です。**

○景観・住環境（美しい景観の創出と住環境の整備）　現区基本計画 P23

評価	**・ 1 事業** **・ 2 事業** **・ 3 事業** **・その他　5 事業**
目標	・区内に広がる自然景観や歴史的景観の保全に努めるとともに，区民と行政が連携し，美しい景観の創出を進めます。 ・また，良好な住環境の保全，形成のための取組を支援するとともに，だれもが，いつまでも住み続けたいと感じられる住環境の形成を図ります。
現状	・樫原や桂坂等の地域において，地域の特性に応じた景観まちづくりの取組が展開されている他，洛西中央緑地における竹林景観の保全等に取り組んでいます。 ・市営住宅や UR 住宅での子育て世帯向け住宅供給，高齢者等の地域内での住み替え相談や洛西ニュータウンの住宅流通促進システムの検討，若い世代の移住促進につなげるため，洛西ニュータウンでの暮らしについての情報発信等に取り組んでいます。
課題	**・自然景観や歴史的景観の保全を進めるとともに，景観まちづくりに取り組むコミュニティへの支援等を充実していくことが必要です。** **・若い世代が魅力を感じる住環境の創出や高齢者も安心して住み続けることができる住環**

	境の確保が必要です。

○農業（田園環境の保全と農業の振興）　現区基本計画 P24

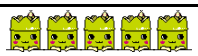
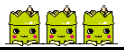
評価	・ **7 事業** ・ **2 事業**
目標	・地域の「緑」としての機能や保水機能など多彩な機能を持つ農地を保全するとともに，農作物のブランド化や地産地消の推進など農業の振興を図り，地域で農業を支えることができる人づくり，仕組みづくりに努めます。
現状	・次世代の農業を担う新規就農者への支援や農業施設の計画的な改修等に取り組む一方，平成 27 年に策定した「大原野「地域ブランド」戦略」に基づき，農産品のブランド化に取り組んでいます。 ・収穫・食育イベント，「風土 Food 大原野」や「マルシェ大原野」，「え！？今頃ひまわり大原野」等，地域産品の直売，農業の PR，都市住民との交流を目的としたイベントの開催，大原野産酒米を使った日本酒「藤袴」の開発・販売，阪急洛西口駅での大原野産野菜の販売，JA 西京農業まつり等農業振興の取組を進めています。
課題	**・農業の担い手育成や地域産品の流通促進等農業振興の取組を進めていくとともに，区内の特色ある農業と教育・観光・福祉等との連携を進める等，農業を軸としたまちづくりの取組を広げていくことが必要です。**

(3)人と歴史・文化が輝くまちづくり

○歴史・文化(地域の歴史・文化の継承と活用)　現区基本計画 P25

評価	・ 1 事業 ・ 1 事業 ・ 7 事業
目標	・区内に点在する歴史的資源を活用したコミュニティづくりを進めるとともに，地域の歴史や文化に対する理解を深め，次代への継承に努めます。
現状	・各種団体や大学等と連携した西京区民ふれあいまつりの開催やウェスティ・学校施設等を核とした地域文化・芸術活動，市民参加型のアートイベント「らくさいアートスタイル」に取り組んでいます。 ・地域の歴史や文化的資源を巡るウォーキングやサイクリング等に取り組んでいます。
課題	**・行政と市民が連携し，身近な祭りや伝統行事の他，新たな地域イベント等にも積極的に取り組み，歴史・文化の保全・継承・創出に努めることが必要です。** **・地域の歴史や文化資源を活かした地域振興やコミュニティの活性化等に取り組むことが重要です。**

○観光(観光の振興)　現区基本計画 P25

評価	・  4 事業 ・ 2 事業 ・  3 事業
目標	・区民の暮らしとの調和に配慮しながら，地域の魅力を生かした観光の振興に取り組みます。
現状	・地域の魅力資源巡りや収穫体験等を組み込んだ観光ツアーの開催，休耕田を活用し，地域の自然・歴史等を PR する「大原野フジバカマ祭り」の開催，地域の事業者が連携した「らくさいスマートサイクリング」等，様々な観光の取組を展開しています。 ・観光シーズンでの嵐山地区のパークアンドライド等歩く観光を展開しています。 ・西山や地域の資源を巡る観光マップの作成・配布の他，歩く観光の振興につながる観光案内標識の充実に努めています。
課題	**・西京区の魅力を活かした観光振興のため，魅力発信の充実，回遊性の向上，地域資源と連携した観光の仕組みづくり等に取り組む必要があります。**
前回会議での委員総括	・東京オリンピック，大阪万博等もあり，IR（統合型リゾート）の流れがやってくる。西京区も近隣事業団体を参考に情報交換していくべき。

○市民スポーツ（市民スポーツの振興）　現区基本計画 P26

評価	・ 2 事業
目標	・区民がスポーツに親しめる環境づくりに取り組み，スポーツを通じて健康づくりや区民相互の交流を推進します。
現状	・体育振興会による各種スポーツ大会の運営や地域のスポーツ講習会，ニュースポーツの普及等に取り組んでいます。 ・健康づくりニーズへ対応し，区内の魅力資源を巡る「西京健康ウォーキング」等に取り組んでいます。
課題	**・近年のスポーツ分野への意識の高まりを活用し，市民の運動習慣づくりの支援や市民の誰もがライフステージに応じたスポーツを楽しむことができる環境を整えていくことが求められています。**

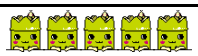
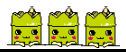
○都市間交流（亀岡市等との交流の推進）　現区基本計画 P26

評価	・ 1 事業 ・ 1 事業
目標	・亀岡市をはじめとする近隣市町との交流を通じて，地域の活性化に努めます。
現状	・亀岡市と西京区が相互に連携したウォーキングイベントの開催や観光情報の発信に取り組んでいます。 ・向日市と連携した「竹結びフェスタ」の開催等，近隣市町との交流を展開しています。
課題	**・亀岡市や向日市，長岡京市等近接する市町との都市間交流を継続していくとともに，京都縦貫自動車道を活かした都市間連携等，観光振興等につながる都市間交流の可能性を探っていくことも必要です。**

○生涯学習（生涯学習の推進）　現区基本計画 P27

評価	・ 2 事業 ・ 2 事業
目標	・生涯学習を通じて，だれもが，自由に学び，ふれあい，交流する，生きがいに満ちたまちづくりを進めます。
現状	・小中学校を生涯学習の場として開放する「学校コミュニティプラザ事業」，「学校ふれあいサロン事業」等に取り組んでいます。 ・西京図書館・洛西図書館での図書サービスの充実や学校教育との連携等に取り組んでいます。
課題	**・市民の「知りたい」「学びたい」というニーズに対応していくとともに，「学び」と各自の仕事や社会活動等が結びつく機会づくりに取り組んでいくことが必要です。**

○大学等との連携（大学等と地域との連携の推進）　現区基本計画 P27

評価	・  4 事業 ・ 2 事業 ・  2 事業
目標	・区内に存在する大学などの学術研究機関と地域が連携しながらまちづくりを進めるとともに，地域の文化や教育・研究活動の成果を発信します。
現状	・大学等と連携した地域資源を活用した地域活性化の取組や公開講座の開催等に取り組んでいます。 ・京都芸術大学の域外移転を踏まえ，跡地活用に向けた検討を進めています。
課題	**・大学等学術研究機関と市民との交流を深め，地域の活性化・発展につなげていくことが重要です。** **・京都芸術大学跡地の活用について，地域・事業者の意向を踏まえ，地域の活性化につながる活用を進めていくことが求められています。**
前回会議での委員総括	・芸大移転について，ゆっくり構えてはいないか。踏み込んで取組を進めていく必要がある。方向性が見えてこず，本腰を入れてほしい。

(4)暮らしやすい都市基盤が整うまちづくり

○公共交通(公共交通体系の充実)　現区基本計画 P28

評価	・ 1 事業 ・ 2 事業
目標	・関係機関等の連携の下，地域の特性に応じた公共交通体系の充実に努め，利便性の一層の向上を図ります
現状	・バスダイヤの充実や増便，停留所の新設等，公共交通の利便性向上の取組を進めています。 ・洛西地域公共交通利便性向上検討 WG により，鉄道とバス運行ダイヤの連携や地域イベントでのバス乗車体験の実施等，公共交通の利便性向上策や利用促進策の検討を進めています
課題	**・公共交通の利用ニーズに応じた交通サービスの提供や歩くまち京都の実現につながる公共交通の充実に努めることが重要です。**

○道路環境(暮らしやすい道路環境の整備)　現区基本計画 P28

評価	・ 5 事業 ・ 1 事業 ・ 4 事業 ・ 1 事業
目標	・人にやさしい道路づくりに取り組むとともに，主要な幹線道路の整備を推進し，交通渋滞の解消と周辺地域の活性化を図ります。
現状	・道路基盤整備として，京都第二外環状道路の整備，国道 9 号京都西立体交差事業，阪急京都線（洛西口駅付近）連続立体交差化事業，一部都市計画道路の整備が完了しました。 ・放置自転車対策として駅周辺での啓発活動等を行っています。 ・自転車利用に関して，観光分野と連携したサイクリングの展開や民間事業者によるレンタサイクル，シェアサイクルステーションの設置等が進んでいます。
課題	**・整備が予定されている都市計画道路等について，計画的な整備を進めていくとともに，放置自転車対策等を継続し，暮らしやすい道路環境を創出していくことが必要です。** **・公共交通利用促進や観光振興等と連動した自転車利用の促進や安全な自転車走行環境の創出やルール・マナー啓発を行うことが必要です。**

○河川・上下水道(河川等の整備)　現区基本計画 P29

評価	・ 1 事業 ・ 2 事業 ・ 2 事業 ・その他　2 事業

目標	・河川や上下水道の整備を促進し，災害時に備えるとともに，区民にうるおいのある水辺空間や安心で安全な水道水を提供します。
現状	・浸水被害を防ぐため，河川改修や雨水流出抑制につながる雨水貯留施設や雨水浸透ます設置の支援などを行っています。 ・水道水供給について，道路部分の鉛製給水管の解消を終えるとともに，琵琶湖の水質管理や高機能活性炭の活用等の調査・検討を進めています。
課題	**・河川改修等継続的な浸水対策を進め，災害に備えることが重要です。** **・水道水の水質維持に向けた継続的な取組や，老朽化が進む水道管等都市インフラについて，適切な維持管理や計画的な更新に取り組み，安心で安全な水道水供給が求められています。**

○建築物の耐震化（安心で安全な都市基盤の整備）　現区基本計画 P30

評価	・ **1 事業** ・ **2 事業** ・ **2 事業** **・その他　1 事業**
目標	・建築物の耐震化や災害に強い上下水道の構築など，安心で安全な都市基盤の整備を進めます。
現状	・民間建築物への木造住宅耐震診断士派遣等による耐震診断の実施や耐震改修の支援を行うとともに，公共建築物の耐震化の取組を進めています。 ・老朽化した水道施設について，地震等の災害に強い水道管への更新，災害用マンホールの整備等に取り組んでいます。
課題	**・民間建築物や公共建築物の耐震化や都市インフラの耐震化に取り組み，災害に強いまちづくりを進め，レジリエンスの向上につなげていくことが必要です。**

○都市基盤分野の主な新たな取組

現状	【西京区役所の総合庁舎化】 ・西京区役所の老朽化等に伴い，総合庁舎化し新庁舎整備に向けた取組を進めており，市民意見を聴取するワークショップの開催や整備基本計画策定等に取り組み，平成 35 年度の供用開始を目指しています。
課題	**・市民意見を踏まえた総合庁舎整備検討を進めるとともに，洛西支所のまちづくり機能の確保等，西京区役所との洛西支所の役割分担についての整理を進めていくことが必要です。**
前回会議での委員総括	・総合庁舎整備について，10 年前の懇談会で提起したことが実現に向かって動いている。

評価の集計

	完了	相当程度実施	一定実施	着手	未着手	その他 事業中止など
人と人とが支え合う区民が主役のまちづくり	25	79	67	2	0	14
環境と共生するまちづくり	3	22	20	1	0	9
人と歴史・文化が輝くまちづくり	9	8	17	0	0	0
暮らしやすい都市基盤が整うまちづくり	7	6	10	0	1	3
合計	44	115	114	3	1	26

(5)人口・高齢化の状況

【現状】

現状	関連資料
【人口】	
・平成 7 年からの推移を西京区全体でみると，平成 17 年以降，減少の傾向がみられ，本所管内ではわずかに増加していますが，洛西支所管内では平成 12 年以降減少が続いています。	資料 5　P1
・学区・地域別にみると桂川，桂徳，桂坂，大枝で増加している一方，嵐山東，桂，大原野，洛西ニュータウン内の新林，福西，境谷，竹の里の減少が目立ちます。	資料 5　P4
【少子・高齢化】	
・西京区の 65 歳以上人口は増加が続いており，平成 27 年では 25.6%となっています。	資料 5　P7
・学区・地域別では嵐山東，大原野，洛西ニュータウン内の新林，福西，境谷，竹の里で 30%を超える高齢化率となっています。	資料 5　P8
・一方，15 歳未満人口比率は減少が続いていますが，京都市全体や他の区と比較すると子どもの比率が高くなっています。また，学区・地域別では洛西ニュータウン内の福西，境谷，竹の里で 10%を割っています。	資料 5　P8
【世帯】	
・世帯数は近年，増加の傾向がみられますが，１世帯当たりの人員は減少の傾向が続いています。	資料 5　P14

【課題】

・人口減少局面に入り，少子・高齢化が進む西京区において，誰もが住み続けることができる環境づくりに取り組むことが必要だと考えられます。

・とりわけ，人口減少傾向の幅が大きく，高齢化率が高い学区・地域について，区民と行政が連携し，地域に住み続けることができるまちづくりのあり方や若い世代等の転入促進等について検討する必要があります。

【前回会議での委員総括】

・西京区相対的には若い区だといわれるが，洛西ニュータウンにおいてはかなりの高齢化が進んでおり，様々な問題がある。

・今後，4 割が一人住まいというまちになり，横のつながりづくりなど，まちが生きるために真剣に考えねばならない。

・洛西ニュータウンは少子高齢化が進んでいるが，自治会加入含めみんなの力を借り，ニュータウンをみんなで過ごせる場にしたい。

・洛西ニュータウンだけでなく，桂坂も少子高齢化が進んでいる。また，熊・猿の獣害もあり，対策を考えている。

・洛西は若い人に来てもらえるような仕組みを考えることが大事。

・西京区は京都の中で一番新しい行政区であり，新しいまちづくり，実現性のある夢のあるまちづくりを進めたい。